

令和7年9月29日(月)
津島市教育委員会社会教育課(横井、村松)
電話番号 0567-55-9421(ダイヤルイン)

第69回津島市文化祭美術展を開催します ～郷土の芸術家展 生誕150年のヨネ・ノグチ作品を初展示～

69回目を迎える津島市文化祭美術展は、市民等の日ごろの創作活動を発表する場を設けるとともに、訪れた人が美術鑑賞や芸術活動に関心を持つきっかけとしていただくことを目的に開催します。

記

1 第69回津島市文化祭美術展

(1) 日時

令和7年10月31日(金)～11月3日(月・祝)
午前10時～午後5時(ただし、最終日は午後3時まで)

(2) 場所

津島市文化会館大ホール(津島市藤浪町3丁目89番地10)

(3) 出品資格

市内在住・在勤・在学または、市内で芸術活動をされている高校生以上の方

(4) 令和6年度展示作品実績

日本画	洋画	デザイン	書道	写真	彫塑	工芸	造形	合計
10	42	42	11	49	2	29	8	193

(5) 入場料

無料

2 郷土の芸術家展

本年、生誕150年を迎えるヨネ・ノグチの書籍、作品をとおして、本市ゆかりの国際的な詩人を知っていただく機会とします。また、津島ゆかりの真野広(洋画家)や松下芝堂(書家)の作品を展示します。

(1) 日時

令和7年10月31日(金)～11月3日(月・祝)
午前10時～午後5時(ただし、最終日は午後3時まで)

(2) 場所

津島市文化会館小ホール(津島市藤浪町3丁目89番地10)

(3) 入場料

無料

(4) 郷土の芸術家紹介

別紙のとおり

3 文化祭協賛行事

期日	行事名及び会場	主催
10月26日(日) 午前10時～午後3時	茶華道展 (文化会館小ホール)	津島市茶華道文化連盟
10月31日(金) ～11月3日(月・祝) 午前10時～午後5時 (最終日は午後3時まで)	第49回つしま生きがいクラブ 「趣味の作品展」 (文化会館大ホールホワイエ)	津島市老人クラブ連合会
11月2日(日) 午前9時～午後3時	謡曲の会 (文化会館和室)	津島謡曲同好会
11月2日(日) 午前10時30分～午後3時	万年青(おもと)名品展 (文化会館視聴覚室)	津島おもと同好会

4 添付資料

第69回津島市文化祭美術展開催周知チラシ

郷土の芸術家紹介**ヨネ・ノグチ (野口 米次郎) 1875-1947**

津島町(現：津島市)出身。英詩人、小説家、評論家、俳句研究者として活躍。10歳から英語を学んだ。

明治26年(1893)17歳で渡米。詩人ウォーキン・ミラーに師事し、詩作を始める。明治29年(1896)に発表した「Seen and Unseen」など、好評を博した。渡英を経て、明治37年(1902)に帰国。明治39年(1906)、慶應義塾の招聘により文学部英文科の主任教授に就任した。

日本文化にも興味を持ち、国外に向けて積極的に紹介。日本語、英語で書かれた著作は合わせて184冊にのぼる。天王川公園の中之島に銅像がある。彫刻家イサム・ノグチの父である。

**真野 広 1919-2010**

津島町(現：津島市)出身。津島で育ち、昭和13年(1938)愛知県立津島中学を卒業後、昭和14年(1939)帝国美術学校(現：武蔵野美術大学)に入学、在学中に第26回二科展に出品する。

ヨーロッパ各地、中東の遺跡や風景、女性を描く作品が多い。

昭和22年(1947)二紀会第1回展に「G氏の像」(50号)を出品して以後毎回出品している。昭和26年(1951)に活動拠点を東京に移してからは二紀会で活躍。

故郷を想う気持ちを強く秘め、郷愁の思いで描いた「天王祭宵祭・朝祭」が最後の作品となった。

**松下 芝堂 1926-2009**

愛知県宝飯郡前芝村(現：豊橋市)に生まれ、昭和22年(1947)鈴木翠軒氏に師事したのち、昭和29年(1954)に津島市内に自宅を構えた。

淡墨による流麗な作風を得意とする。

昭和30年日展初入選。特選、菊花賞など度々受賞し、平成10年には「花下酔(かかのよい)」で日本芸術院恩賜賞、芸術院賞を同時受賞。

昭和45年(1970)年には、翠軒流の書道団体「有根会」を発足させ、後進の指導に傾注するとともに、平成19年にはパリの画廊で個展を開くなど、文化交流にも尽力した。

